

2022年度ユネスコスクール活動調査の結果（概要）

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）では、文部科学省から委託を受け、ユネスコスクールとESD（持続可能な開発のための教育）の推進を目的として、ユネスコスクール活動調査を毎年おこなっています。この度、2022年度の調査結果を取りまとめましたので公表します。

1. 調査結果から見る主な成果

① SDGsの17の各目標に対する取組について

SDGsの17の目標のうち、教育活動に取り入れた特に関連する目標上位5つは下記の通りである。目標16（平和）が昨年度よりも上位に入った（昨年度8番目）。各校でSDGsの17の各目標に対する取組が進められている。

- 目標11（持続可能な都市）—61.5%
- 目標12（持続可能な生産と消費）—29.0%
- 目標3（保健）—27.6%
- 目標4（教育）、目標16（平和）—25.6%

② 新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症によるユネスコスクールの活動への影響について、昨年度はあったとの回答が85.4%であったが、今年度は65.5%に減少した。2022年度は規制が少しずつ緩和され往来が増えてきた（図14）と共に、コロナ禍の中でICT環境整備が進み（図7）オンラインでの授業や交流が浸透してきたためと推測できる。

③ 学校間交流について

国内の学校と交流したと回答した学校は46.2%（昨年比6.0%増）、海外の学校と交流したと回答した学校は24.2%（昨年比5.7%増）となり両者とも増加した。②と同様、規制の緩和およびオンライン交流の浸透が理由として推測できる。その一方、交流しなかったと回答した学校は昨年度より9.4%減ったものの42.5%と依然高い数値に留まっている。ユネスコスクール公式ウェブサイトの学校間交流ページや他校の交流事例を参考に、また、ASPUnivNetなどの支援を活用しながら、新たな交流活動を展開していくことが期待される。

④ ユネスコスクールの教育活動に対する評価について

ユネスコスクールの教育活動を評価するための工夫について、昨年度はしているとの回答が56.6%であったが、今年度は68.3%に増加した。年々評価に対する認識が高まっていると言える。また評価方法（図33）については、今年度より「振り返り記述などのアンケート」および「ポートフォリオ」が新たに選択肢へ追加されたことで、「その他」の回答が6.2%（昨年比20.7%減）となった。と同時に、各校が評価方法として「振り返り記述などのアンケート」（69.8%）や「ポートフォリオ」（37.5%）を多く実施していることが分かった。

⑤ ESDを実践したことによる教員の主な変化について

ユネスコスクールへ加盟後、ESDを実践したことによる教員の主な変化（上位3つ）は下

記の通りである。ESD を意識したカリキュラムの実践の回答割合が高いまま推移している。

| カリキュラム・教授法の変化

- ・ 教科領域を超えて横断的に取り組むなどカリキュラムマネジメントを工夫するようになった—59.6%
- ・ 児童・生徒自らが問題意識をもち課題を発見できるようなカリキュラムを開発するようになる—54.3%
- ・ 持続可能性に関する価値観をもとに授業等を見直す機会をもたらした—48.6%

| 学校運営の変化

- ・ 学校全体で ESD に取り組む機運が高まった—54.3%
- ・ 教員が積極的に地域の方々と交流し、双方の信頼関係が深まった—47.0%
- ・ 教員間で持続可能性に関する価値観を話し合う場をもつことができるようになった—39.3%

2. 調査結果から見る主な課題

① 研修への参加について

校外における ESD・ユネスコ活動に関する研修への参加の有無について、「いいえ」の回答が(64.7%)となっている。ユネスコスクール全国大会・地方大会や公式ウェブサイトで広報しているイベントを、学校にとって魅力ある内容に洗練する必要がある。

② ユネスコスクール活動支援の活用について

ユネスコスクール事務局の利用状況について「特になし」の回答が 40.1%、同様に ASPUnivNet からの協力や支援について「特になし」の回答が 78.2%となっている。2022 年度より始まったユネスコスクール定期レビューや公式ウェブサイト等で支援メニューを明示化し、広く周知する必要がある。また、加盟校・キャンディデート校と ASPUnivNet の連携強化も求められる。

3. 調査の概要

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) が文部科学省の受託調査として 2022 年 12 月 20 日～2023 年 3 月 31 日に実施。調査内容は 2022 年度の学校の取組 (2021 年 12 月～2022 年 11 月) を対象としている。国内のすべてのユネスコスクールに対してウェブによる回答協力を依頼し、624 校 (回答率約 56.0%) から回答を得た。

(調査実施元)

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル
TEL:03-5577-2852 FAX:03-5577-2854
E-mail:webmaster@accu.or.jp
ユネスコスクール公式ウェブサイト:<https://www.unesco-school.mext.go.jp/>